

現代社会

1 自ら課題を設定し、調べ、表現することを目指した授業展開例

<主題> 現代に生きるわたしたちの課題「科学技術の進展と生命の問題」

<解説> 進歩したと思われる科学技術について、父母からの聞き取り調査の意見や生徒同士の意見交換などから調査してみたい項目を決定し、それをグループで調べる。それぞれの科学技術の持つプラスの側面、マイナスの側面から発表をまとめ、両者で討論する形式で発表を行った。

2 身近な事象と自分の生き方を関連づけられることを目指した授業展開例

<主題> 現代に生きるわたしたちの課題「日常生活と芸術とのかかわり」

<解説> 生徒が普段よく見るテレビドラマを題材として選び、視聴する観点を明確にさせた上で視聴し、主人公の生き方や考え方、出演者の人間関係などを自分の生き方に対比させて考えさせた。また、各ドラマに共通する一人の脚本家(地元出身)についてもその生い立ちや、他の作品を調べ興味を持たせた。

3 教室に設置されたLANを利用して資料検索・発表ができることを目指した授業展開例

<主題> 現代に生きるわたしたちの課題「豊かな生活と社会福祉」

<解説> パソコンを利用した資料検索・加工・発表までを今年度設置された校内LANを利用してすべて教室で行うことを目指した授業。「日本の豊かさ」をテーマとし、諸外国のそれと比較検討し、その違いを発表させた。

4 ロールプレイを利用して国民の権利義務を身近なものとしてとらえることを目指した授業展開例

<主題> 現代の社会と人間としての在り方生き方「日本国憲法の基本原則」

<解説> 最近増えてきた法律もののテレビ番組をヒントに、日本国憲法下の権利義務に関する裁判の判例を抜粋、生徒に選ばせ、それをロールプレイで演じさせた。見ている方の生徒にはそれぞれ評価表による観点別評価も実施させた。

1 自ら課題を設定し、調べ、表現するを旨とした授業展開例

教科(科目)	公民 (現代社会)	単元名	現代に生きる私たちの課題
本時の主題	科学技術の進展と生命の問題 (8時間目 / 8時間)		
本時の目標	(1) 科学技術の成果が日常生活の隅々まで浸透していることに気がつく。 【関心・意欲・態度】 (2) 調べたことをわかりやすく解説、発表することができる技法を身につける。 【技能・表現】 (3) 科学技術の発達、生命のあり方に関わる課題になってきていることを知る。 【思考・判断】		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
前時までの確認 自分とかわりのある出来事から問題を見つけだす。 5分	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 「昔(以前)と比べて進歩したなあ」と思える科学技術にはどんなものがありましたか 数人に答えてもらう <生徒が選んだ3つのテーマ> 1. クローン技術 2. バイオテクノロジー 3. 体外受精など生殖医療 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">発表の形態</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">プラス側</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">発表者</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">マイナス側</div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 10px auto; text-align: center;">評価する生徒</div>	自分の身近な事象の中から関心をもって考えてみるができる。 注1 【関】 <評価方法> 発問、挙手 注2 教師の側で調べる項目を設定することはせず、生徒が調べてみたいことあげさせた。 発表形態は、「図や写真を使って解説するディベート」的な方法とした。 注3	
3つのテーマについて、それぞれプラス面について、マイナス面についての発表を行う。 35分	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> クラスのみんなにわかりやすく発表しよう。 《クローン技術のプラス面について》 <生徒の発表の要点> ・食用動物の大量生産 ・実験用動物の革新 ・医薬品の製造 ・希少動物の保護再生 ・移植用臓器の作成 《クローン技術のマイナス面について》 <生徒の発表の要点> ・クローン動物製造の成功率の低さ ・クローンの健康への不安 ・子や孫の世代に与える影響 ・人を意図的に作り出すことに対する是非 ・人の生命の誕生に対する概念からの逸脱 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 発表者以外は、発表を評価する。 自分の考えとの相違点、気がついた疑問点等があればプリントにメモをとりながら説明を聞く。 </div>	「どのようにしたらわかりやすい発表になるか」については、3時間目の授業で学習済みであり生徒たちは、様々な工夫を凝らして発表する「スライド」を準備した。 注4 【技】 <評価方法> 評価用紙を配布し発表を相互評価する。 発表の内容についてよりも、発表手法の工夫、アイデア等に重点を置いた評価を試みる。 注5 質問等の時間もとる。 【知】 <評価方法> 評価表への記入	

指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
発表を聞いて自分の考えを整理する。 40分	<p>両立場の説明を聞いて、自分の考えをもう一度まとめなおしてみよう。</p> <p>発表を聞いて質問をし、自分の意見をまとめる。</p> <p>*予想される意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えていたより（予想もしない）いろいろな問題点がある。 ・医療技術という点では、プラス面も捨てきれない。 ・<u>生命の定義がわからなくなってきた。</u> 	<p>導入の授業時（2時間目 / 8時間中）に賛否を聞いた時にはこの技術はプラス面の方が大きいという意見10名、マイナス面の方が大きいという意見30名であった。</p> <p>黒板に表記済み発表の内容によって様々な意見がでると考えられるがアンダーラインのような生命倫理の観点から何らかの意見が出るのを期待する。</p> <p><評価方法> 行動観察 【思】</p>
生命倫理の観点からクローン技術を考えてみる 50分	<p><u>生命のあり方とのかかわり</u>で考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてこんなに反対が多いと思いますか？ ・あなたは、どのようにして生まれてきましたか？ ・また、あなたが女の子であること、お母さん似であること、運動神経がよいことなどは誰が決めましたか。 <p>発表する。</p> <p>*予想される意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を人間の手で操作するからだと思う。 ・お父さんとお母さんから生まれた。 ・私が女の子に生まれたのも、性格などもすべて偶然だ。 ・自然に生まれ、自然に生きているということを変えてはいけないと思う。 ・命を人工的に作ることに疑問を感じる。 <p>結論を出すのではなく、アメリカ等で人間への応用を規制する法律等が成立した趣旨などを説明して考えさせる。</p>	<p>生命倫理の観点からの意見が出なかったときの発問。</p> <p>本時は学習の動機付けや学び方の習得が目的であり、この問題にも深入りはせず、そのような観点からも考えていくことが必要な問題であるといった程度にとどめる。</p> <p>【思】</p> <p><評価方法> プリントに自分の考えを記入提出</p>

[注1] 「昔（以前）と比べて進歩したなあと思える科学技術」

生徒意見：人工衛星、クレジットカード、携帯電話、DVD、クローン技術、宇宙旅行、新幹線、エコロジーの車、人工授精、カーナビ、高速増殖炉、洗濯機と乾燥機がひとつになった、製水器、飛行機、体外受精、インターネット、臓器移植、冷凍食品、医療器具、壁掛けテレビ、美容整形、FAX、パソコン、コンビニ、テレビ電話、遺伝子組み換え食品 など。

父母・祖父母の意見：通信販売、デジタルカメラ、電化製品のリモコン化、コードレスホン、コンタクトレンズ、パソコンによる野菜の栽培、紙おむつ、世界中のどこでも簡単に連絡が取れること

[注2] 研究授業対象のこのクラスだけでなく、すべてのクラスで「クローン」と「体外受精」は3つの調べてみたいことになった。その他は「人工衛星」「臓器移植」「遺伝子組み換え」「高速増殖炉」であった。

これはその仕組みやその功罪などが理解できにくいものに意見が集約されたようであった。

[注3] このクラスは情報処理科であるが1年生であるため、個人的にパソコンを使用したことのあるもの以外は学校の授業ではまだ情報機器の使用法等は学習していない。デジカメでの写真撮影、スキャナによる写真の取り込み、パソコンからテレビ画面への表示方法などは、使用するグループに限り指導した。今後、情報処理、総合実践等の授業で使用方法を学習していくと思われる。

[注4] わからないことの調べ方、わかりやすいまとめ方の授業を1時間（3時間目 / 8時間）行った。

調べる方法として生徒が行っていたのは、学校図書館、インターネット、新聞記事、本校理科の先生や中学の先生へ聞きに行く、商品相談窓口へ電話してみる、レンタルビデオで参考になりそうなものを探す、インターネットで見つけた医療機関等へメールで質問してみる、などであった。

[注5] 生徒が相互評価する観点は「1. 発表の長さ、聞こえやすさ」「2. スライドのアイデア」「3. グループの連携」「4. 内容のわかりやすさ」の4点のみにした。このような形態での授業は高校で初めてであること、新指導要領がこの単位では学習の動機付けを目的としている点から、自分たちの作成した発表資料が評価され、また調べてみたいという気持ちになるような評価をすることにとどめた。

[注6] 観点別の評価として「論理的に思考できる」ことを目指しているため、少なくとも8時間中の2時間目に考えてみた自分の意見よりも、より発展的な意見になっていること（できればこの段階で、次に説明する生命倫理に関わる事象であることに気がついている）が大切である。

[注7] 本時を含めたこの8時間の授業は、生徒が今後、さまざまな場面（学校での他教科の授業、日常生活）で見聞きする科学技術の進展に関わる諸事象に直面したときに、自分ともかかわりがある問題としてとらえることができ、その問題をさらに勉強してみたいという気持ちになってくれる動機付けの授業として位置づけた。

大項目(1)現代に生きる私たちの課題 3. 科学技術の発達と生命の問題

8時間の流れと新課程での留意点

1時間目

最近とても便利になったこと

1. 日常生活の中で便利になったなあと感じることは？
2. 家の人にも聞いてこよう。
3. できるだけたくさんあげてみよう。
4. 日常生活の中で興味・関心があったり、テレビや新聞を見ていてもその仕組みや事象がよくわからないことに絞って選んでみよう。 **クローン技術に決定**

2時間目

科学技術のこれからは

1. まずどんなことを知っていますか？
2. ビデオに助けてもらってもう少し詳しく知ろう。
3. これからどうなっていくのか、意見をまとめよう。
4. この技術、これから先「プラス面」「マイナス面」どちらの方が大きいと思いますか？

*クローン技術「プラス面多し派」「マイナス面多し派」に分かれてみんなを納得させる説明会を実施することを提案。

3時間目

どうしたらわかりやすく説明できる

1. まず、わからないことを調べるにはどうしたらいい？
2. 先生たちの授業に「意見！」してみよう。
3. 1枚のB紙にまとめるにしても、よりみんなが注目してくれる方法は？
4. もうひと工夫するための情報機器！

4. 5. 6. 7時間目

5つのスライドで発表を組み立てよう

1. 図書館等での資料収集
2. 発表資料作成

8時間目

発表を聞いてまとめよう

1. 発表のわかりやすさを評価してあげよう。
2. 発表を聞いて、もう一度自分の考えを整理してみよう。
3. みんなで「生命のあり方」について考えてみよう。

*新学習指導要領ではまず自分自身とのかかわりに着目して「課題」を設けることになっている。この場合の「自分自身とのかかわり」とは例えば、地域的に身近な事象、教科、科目として身近な他教科との関連、日常生活における身近な事象、などが考えられるが、今回取り上げた科学技術の問題に関しては日常生活の中から(多少焦点がずれる項目があがったとしても)便利になったことをあげたり、家の人からも聞いてくることによって自分自身とのかかわりを感じられるよう配慮した。

*大項目「現代に生きる私たちの課題」はこの科目の導入としての性格を持つことから、高度な内容に深入りすることは避けるよう明記されているが、生徒が調べてみたいこととしてあげたテーマはいずれもその基本的内容もほとんど知らないようなものばかりであった。(クローンや臓器移植など)

そこで、とりあえずその仕組みや現在の状況などの知識を学習の手始めとして新聞やテレビニュースを利用して与え、「これからどのようなことができそうか」「これからどんな問題点ができそうか」を考えさせた。そして1クラスで3テーマ、それぞれ賛成派、反対派の6グループに分け、調べてみたい項目を選ばせて発表の準備にかからせた。(このクラスの生徒はクローン技術、体外受精、遺伝子組み換え食品を選んだ。)

*新課程の課題追究学習ではさまざまな場面での資料の収集・活用能力の育成、さらに「適切に表現する」という表現力の育成が求められています。生徒たちは小・中学時にいわゆる調べ学習的なことは体験済みであり、本時は特に「わかりやすく説明する手法」について学習した。方法としては左記に記したようにまず先生たちの授業を分析、よりわかりやすくなるためのアイデアを出し合った。さらにさまざまなサンプルを示し、B紙一枚にまとめる時にもどのような工夫ができるかどうか、さらにより効果的に説明するための情報機器の活用例などを話し合わせた。

*いわゆる発表資料の収集・作成には授業時間として4時間を充てた。しかし実際には4時間では少し不十分であると考えられる。(今回は、前期中間考査が間に入ったため前ページ[注4]にあげたように市立の図書館へ通ったり、学校時間以外に独自で調べたりする時間が考査中に確保できた。)

*[注5]にあげたように、今回は発表のわかりやすさに絞って生徒に評価させた。回収したプリントをみると3限目の授業が生かされ、かなり厳しい意見や、効果的な手法を賞賛する意見などが出された。今後自分たちが発表を試みる場合に、自らの参考になると思われることについては、他のグループに対して積極的な意見が示され、問題意識も高まったと考えられる。

[観点別評価・表現できる(資料活用の技能・表現)]
アイデアのあったスライド(生徒が自分で工夫したところ)

1. 絵をうまく利用した例



2. 映画を探してきて視聴させた例



3. 人形劇風にまとめた例



4. 自分でビデオを撮ってきて紹介した例



5. 紙芝居風にまとめた例



6. 図形を動かしながら説明した例



[観点別評価・論理的に考える(思考・判断)]
考え方が進歩したと思われる例

< 2時間目に書かせたクローンに対する考え >	< 8時間目に書かせたクローンに対する考え >
クローン人間なんて怖いので絶対反対。 <i>C組 M子</i>	人の命に人工的に手を加えることはいいときも悪いときもあるのでいろいろな問題点を解決していくことが大切だと思います。
自分だったらクローン牛なんて絶対食べない。 <i>C組 A美</i>	絶滅寸前の動物を救ったり、ジュラシックパークのような恐竜動物園ができるなんて魅力的だけど、それは自然な姿ではないと考えると魅力も激減するような・・・。
安全に臓器が移植できたり、ドリーのように薬が大量に作れるのだから、しっかり監視しながら行えばクローン技術はいいことだと思う。 <i>C組 U香</i>	生命誕生から今まで自然のままだったのだから、やっぱり自然のままが一番いいのかもしれない。はっきりいってわからなくなった。
クローン人間絶対反対。 <i>D組 M由</i>	ただクローン人間反対というのではなくて、自分が死んですぐにもう一度自分を作ったりすることができるになればひょっとしたら賛成する人が増えてくるような気がした。でも私は反対したいような気がする。
クローンはあってはいけないと思う。特に自分のクローンなんてあったらいやだし。	将来技術が進めば、よいことも悪いこともできるようになるということだと思った。賛成か反対かはよくわからない。
クローン人間のみ反対です。それ以外の技術利用は賛成です。 <i>A組 N月</i>	今日見せてもらった映画で思ったのは、だめだとしても絶対に誰かが作るの間違いはないと思った。作らせないことより悪用させないことはできないのか考えてほしいというのを思った。
考えるだけで怖いけど、いいこともあると思う。 <i>B組 Y子</i>	今までの常識を覆すことができることがわかった。ふつうに考えるとそれはとても怖いけど、すべては人間が行うことなのでいつかは思いとどまると思う。

2 身近な事象と自分の生き方を関連づけられることを目指した（3時間の）授業展開例

教科(科目)	公民(現代社会)	単元名	現代に生きる私たちの課題
本時の主題	日常生活と芸術とのかかわり(3時間分)		
目標	(1) テレビドラマの中からさまざまな課題を見つけながら視聴することができる。【関心・意欲・態度】 (2) 感動した場面や共感を受けた場面をポイントごとに整理して発表することができる。【技能・表現】 (3) この作者の意図である被差別者への過剰な配慮や逆差別に対する意見やメッセージを読みとったり、主人公の生き様から自分自身の生き方のヒントになることを考えてみる。【思考・判断】		
指導・内容のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
授業1時間目 4本のテレビドラマの内容を思い出す。 15分	テレビドラマ『ロングバケーション』『最後の恋』『あすなる白書』『ビューティフルライフ』の4本のオープニングの場面を視聴しよう。 見たことがあるドラマについて、感想を述べる。	大抵の生徒は4本とも過去に見たことがあるドラマであるが、もう一度内容を思い出してもらうためにオープニングを視聴させ、その後少し雑談形式で内容の確認をさせる。【関】 <評価方法> 机間指導にて確認 注1	
同じドラマを見る者同士で、どんな点に注意してみるかを話し合う。 ドラマの設定や主人公の言動と自分を結びつけるきっかけにする。 40分	次の時間に見たいドラマの一つを選び、視聴する時のポイントを考えてみよう。 グループでの話し合い 次回発表 ドラマを見た時に「よかった」「続きが見たい」と思うのはなぜだと思いますか。 生徒の意見 ・どれも、どこにでもありそうな話なので、親近感がわき、自分のことのように考えられるから。 ・自分の将来とだぶらせて考えられるから、展開がどうなるのかに興味がある。	セリフ・BGMなど視聴する観点をみんなで出し合う。【技】 <評価方法> プリントの記入を確認 「続きが気になるから」とか「あの人が格好いいから」という意見から「自分のことのように考えられる」「同じ立場に立つと・・・」のような発展した意見がでるよう補足する。【思】 <評価方法> 意見の発表で確認	
今までとはちがった視点でドラマを視聴する。 50分	課題を持ちながらドラマを見てみよう。 4つに分かれて、少しちがった視点でドラマを視聴する。	時間の関係で抜粋しか視聴できないが、今までのただ見たという状態から目的を持って視聴できるようになると良い。	

[注1] 生徒の意見・感想例

『ロングバケーション』

- ・結婚式当日彼に逃げられたという、どん底の状態から始まるストーリーが良かった。
- ・とにかく前向きに生きる南(女性の主人公)の姿に共感した。

『最後の恋』

- ・弟の入院費を作るために体を売り、そのことをずっと引きずっていかなければいけない篠崎(主人公の女性)がとにかくかわいそう。
- ・ぜひ続編をやってほしいと思った。

『あすなる白書』

- ・友人関係が複雑だったけど、それぞれの大学生の生き方に個性があった。
- ・同性愛者が登場するが、力強く生きていたと思った。

『ビューティフルライフ』

- ・車いすの主人公(女性)の強さに感動した。
- ・彼が主人公にかけてあげる一言一言の言葉にもものすごく意味があった。

指導・内容のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
<p>授業2時間目 ポイントを絞ってテレビドラマを見ることができる。</p> <p>40分</p>	<p>ドラマを見るポイントを上げてみよう</p> <p>*視聴のポイントとしてあげたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心を打たれたセリフを見つける。 ・テーマソングがどんな場面で流れるのかに注目する。 ・「共感できる(気持ちがわかる)」と思った場面をあげる。 ・登場人物の人間関係を図式化する。 ・俳優(女優)のキャラクターと役柄がマッチしているかどうかを検討する。 <p>ドラマを視聴しよう</p> <p>4部屋を使用し、それぞれの見たいドラマに分かれて視聴する。</p>	<p>自分で考えてきたポイントでなくても、友達の見聞を聞いていいと思えばそれを使う。</p> <p>【思】</p> <p><評価方法> 意見の発表で確認</p> <p>注2</p>
<p>作者の意図を考へてみるることができる。</p> <p>50分</p>	<p>作者はこのドラマであなたたちにどんなことを伝えようとしているのだと思いますか</p> <p>本時はグループでの話し合いに留め、次回にみんなに発表する。</p>	<p>グループでの話し合いで、意見を交換する。</p> <p>【思】</p> <p><評価方法> 机間指導で確認</p> <p>ここで取り上げた作者の作品は、身障者、ゲイ、ホテル嬢、企業のベテラン未婚女性、仕事に失敗した男性など差別されがちな人物にスポットを当てて、被差別者への過剰な配慮や逆差別に対する問題も提起しているところに共通点がある。グループでの話し合いではそのあたりに気が付き、社会へ出てさまざまな形で存在する差別と、それに伴う問題点に気が付かせたい。</p> <p>【思】</p>

[注2] 生徒があげたポイントとその具体例

1. 心に残ったセリフ

- ・「俺がバリアフリーになってやるよ」『ビューティフルライフ』
- ・「高さ1メートルから見える景色ってどんなだろう?」『ビューティフルライフ』
- ・「何をやってもだめな時ってあるじゃん。そんな時はさ、無理して走らない。がんばらない。」『オーバータイム』

2. 主人公などの行動に共感できたところ

- ・人を助けたいから医者になろうと思ったとってがんばる研修生の姿『最後の恋』
- ・一見クールに見える主人公がスーパーボールでけなげに遊ぶシーン『ロングバケーション』
- ・入試でシャープペンシルの芯が無くなったときに、さりげなく主人公が貸してあげるシーン。『あすなる白書』

3. BGMなどの効果で印象に残ったところ

- ・会話がないうちや風景の時はピアノやギターだけ『あすなる白書』
- ・主人公の部屋での会話時には必ず「人生ゲーム」で遊んでいるところ『オーバータイム』

指導・内容のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
<p>授業3時間目 ドラマの主人公たちを自分と周囲の関わりに置き換えて、今の自分、今後の自分を考えてみる。</p> <p>30分</p>	<p>自分の生き方の参考になった部分はどこですか？</p> <p>一人ずつ発表する。（その時ポイントになる一場面があればビデオを見せてもよいことにした）</p> <p>生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生や社会人など、自分たちより大人が主人公であるが、つらいときや悲しいとき、壁にぶち当たったときなどはとても無邪気で子供っぽい。（そういうところがあってもいいんだと思った） 『オーバータイム』 ・障害者に対して何のこだわりもない男性の透き通った心、偏見のない言動は絶対見習いたいと思った。 『ビューティフルライフ』 ・どちらかという、大の親友を一人作り、その友人を大切にしていきたいと考えていたが、人間関係は複雑になるが5～6人のグループでの友人作りもすごく魅力があった。 『あすなる白書』 	<p>ドラマの主人公たちの設定は自分たちより年齢が上の大人であるが、今の自分の行動や考え方で、「いやだなあ」とか「これでいいのかな」と不安に思っている部分が解消できるきっかけになったり、勇気づけられたり、希望がわいてきたりした部分を発表しあう。 【技】</p> <p><評価方法> 発表を相互評価</p>
<p>身近な芸術活動家への関心を喚起する。</p> <p>50分</p>	<p>なぜこの4本のテレビドラマを取り上げたと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県出身の脚本家・北川悦吏子さんの作品 *生徒の新たな興味、関心事項 ・別の作品もビデオで見よう。 ・エッセイ集などを読んでみよう。 ・インターネットなどで彼女の生い立ちを調べてみよう。 ・出身地や出身高校で、わかることを聞いてみよう。 	<p>この授業展開では長期休業を挟んでいるので同一の脚本家の作品であることに気が付いている生徒は多かった。北川さん自身に対する意見も最後に聞いたが、興味を持って他の作品も見てみようとする生徒が多かった。 【関】</p> <p><評価方法> 発問、発言</p>

授業を終えての生徒の感想と、別の授業展開が考えられる例

生徒の感想	別の授業展開例
<p>テレビドラマをこんな風に分析する感じで見ただけで、改めていろいろな点に気がついたので良かった。</p>	<p>どんな点に気が付いて、それを自分に置きかえてどう活かせるのかを考えさせる。</p>
<p>今まではただ「いいなあー」と思っただけだったけど、自分がなぜ「いいなあー」と思っていたのかを発見することができた。それは憧れとかいうより、共感できるというか、私も同じ立場だったらそうするだろうという一体感みたいなものであったことに気がついた。</p>	<p>同じ立場に立った時の対処法をいろいろ挙げて話し合ってみる。</p>
<p>最初は「日常生活と芸術との関係」みたいに言われたので、なんか難しそうなのがしていやだったけど自分の知っているテレビドラマだったのですごく楽しかった。そしてひょっとしたら難しそうなの絵や書道なんかでも奥が深くておもしろいのかと思った。</p>	<p>生徒が知っている芸術家をとりあげ、その作品を解説する。</p>
<p>これらのドラマがすべて同じ脚本家の人の物であることにびっくりし、私と同じ美濃加茂の人だということでさらに驚いた。夏休みには本屋さんでいろいろ探してみようと思う。</p>	<p>北川さんの作品以外でも、過去に読んだことがある作品などからテーマを挙げて話し合わせる。</p>
<p>すべてに共通して社会的に弱い立場の人が主人公になっていた。これからも北川さんのテレビドラマに注目してみたいと思う。</p>	<p>北川さんの作品を取り上げたねらいである「被差別者に対する配慮や適切な言動とは」についてドラマを参考にして考えさせる。ただし今回の授業展開では、ドラマを普段より詳細に別の角度から視聴したという実践で終わってしまった感があり、ドラマを1本に絞り、最初に視聴するポイント、テーマを与えた上で、視聴、意見交換、そこから自分に置きかえた時にできること・やらなければならないことなどを考えさせる展開にした方が効果的であったのではないかと反省した。</p>

3 教室に設置されたLANを利用して資料検索・発表できることを目指した授業展開例

教科(科目)	公民(現代社会)	単元名	現代に生きる私たちの課題
本時の主題	豊かな生活と社会福祉(1時間目/3時間)		
本時の目標	(1) 豊かな生活とはどんなものかの学習について、直感的なイメージによる表現を通して、意欲をもって取り組むことができる。【関心・意欲・態度】 (2) 豊かさとは何かの意味を考えることによって人生において大事にすべき価値観などを意識して深く考えることができる。【思考・判断】 (3) ホームページのより効果的な検索方法などを身につけることができる。【技能・表現】		
指導・内容のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
自分にとっての豊かな生活をイメージしてみる。 10分	あなたにとって、豊かな生活とはどんな生活ですか？ イメージしてみましょう。 予想される生徒の意見 ・お金が不自由なくあること。 ・遊んで暮らせること。 ・欲しいものに囲まれて生活できること。 ・毎日楽しく学校生活が送れること。 ・自分だけでなく、みんなが幸せに生活できること。 それでは あなたは今豊かな生活を送ることができていますか？ 予想される生徒の答え はい・・・ほとんどなし。 いいえ・・・大半の者。	「豊かさ」の意味にはこだわらないで、自分にとっての豊かな生活をイメージさせる。 大半が物質的な豊かさがあるか否かを基準に考えるとと思われる。【関】 <評価方法> プリントに豊かな生活を書かせ、発表させることで、考えを把握する。 「氏名カード」を用いて黒板に貼付。学習プリントに結果を記録させる。	
「豊かな」ということの意味を考えてみる。 35分	なぜ、みんなが「いいえ」なのかを考えてみよう。 <3～4人グループで意見交換> 予想されるグループでの意見 ・欲しい物が買えないから。 ・学校も楽しくない。 ・自分の家庭をみても決して裕福とは言えないから。 ・外国に比べて家も小さく、家賃なども高いと聞いた。 ・徐々に ・働く人の労働時間も長いということを聞いた。 ・精神的に満たされなくて、「癒し」がブームになっているようでは豊かとは言えない。 ・特に不自由はしていないが、そんなに住みやすい社会とは言えないような気がする。 「はい」と答えた人たちの意見も聞いてみよう ・単純に比較できないかもしれないが、世界には様々な問題で困っている人たちがいるので、それと比べればよい。 ・私自身は特に困っていないが、日本も、高齢者や障害を持った人などが生活しやすい社会とは言えないような気がする。	最初は、高校生である自分が物質的な豊かさを享受していないことで「いいえ」であったのが、いろいろ考えてみると物の点でも、それ以外でも豊かとは言えない点がたくさんあるのではという意見が出てくるように思われる。【思】 <評価方法> 思考の変化をプリントにまとめ、グループ内で自己確認する。 それぞれの意見は紙に書いて黒板に貼り付ける。 新学習指導要領では「豊かな生活」から「社会福祉」のあり方を考えるようになっているが、それが自然に出てくるように心がけ、無理に「社会福祉」に結びつけないようにした。	

指導のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
<p>的確に必要なとする資料を探し出すことができる。</p> <p>4 5 分</p>	<p>「豊かなこと」「豊かでないこと」を示すことができる資料をインターネットから検索してみよう。</p> <p>その前に</p> <p>検索するときのキーワードを考えてみよう。</p> <p>グループで考えた予想されるキーワード</p> <p>お金 遊び 仕事 教育 住まい 友達</p> <p>癒し系 福祉 政府 厚生労働省 文部科学省</p> <p>総務省 各市町村 文化 医療 豊かさ</p>	<p>黒板には、先ほどの意見が紙に書いて張ってあるので、それを参考にしてキーワードを考えることができる。</p> <p>【技】</p> <p><評価方法> 次回、自分たちが探そうと考える資料を授業時間内に見つけたことができるかを確認</p>
<p>次回の授業展開のイメージをつかむ。</p> <p>5 0 分</p>	<p>2グループだけ5分間の制限時間で検索してみる</p>	<p>他のグループはテレビ画面で検索の様子を確認できる。</p>

2 時間目の授業展開

目標：インターネットを用いたより効果的な情報収集の方法を身につけ、視聴覚機器を利用して、自分の意見を表現する。
【関心・意欲・態度】【技能・表現】

1. クラスに設置した2台のパソコンをグループごとに5分間ずつ使用。
2. 検索して見つけたホームページ（資料）をパソコンに保存。
3. 検索を行っていない班は、次回発表用の考えをまとめる。
発表の基本はホームページ資料としたが、本などの資料でも良いことにして、図書館でも資料収集させる。
4. 1グループの検索時間は5分。2台あるので1グループ2回使用できる。
授業時間内でできなかったグループは休み時間や放課後を利用する。

3 時間目の授業展開

目標：「豊かさ」の本当の意味を考え、人生にとって何が大切なのかを考え、社会福祉など、制度の充実が必要かなどに気付く。

1. ホームページで検索した資料、図書館で収集した資料をテレビモニターに映し出し、それをもとに意見を発表する。
2. 自分たちの発表や他のグループの意見を参考にして、「豊かさ」について考えると同時に、発表の内容について自己評価、他のグループ評価をする。

授業風景

生徒の意見を氏名カードで貼付
誰がどんな考えなのかを、みんなが確認できる。



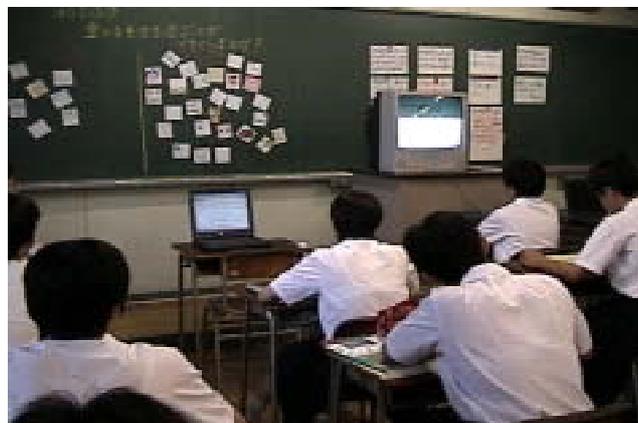
グループ内の意見を黒板に添付。
サーチエンジンで検索するときの参考に
する。



L A Nを利用した教室内での検索風景



他のグループが検索したホームページをテレビモニターで確認



4 ロールプレイを利用して国民の権利義務を身近なものとしてとらえることを目指した授業展開例

教科(科目)	公 民 (現代社会)	単元名	現代の社会と人間としての在り方生き方
本時の主題	日本国憲法の基本原則 (4 時間目 / 6 時間)		
指導目標	(1) 日本国憲法にある国民の権利義務について、身近な例で関心を高める。 【関心・意欲・態度】 (2) 身近な話題に関する具体的な判例をもとに自分自身で憲法(法)を解釈し、判断を行う。 【思考・判断】		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
日常生活のさまざまな場面に法律が関わっていることを理解する。 10分	テレビドラマ「カバチタレ」の1シーンを視聴する。 ドラマの内容を確認する。 ・被害にあったのは？ ・このシーンに出てきた法律は？ ・どんな方法で解決した？ (予想される生徒の答え) 不当解雇・賃金未払い・セクハラ 労働基準法・内容証明・告訴	内容証明の書き方などは「消費者問題」として、現社の他の単元、家庭一般でも取り扱われるのでその関連にふれる。 身近な日常生活に登場する法律という点で興味を持たせる。 【関】 <評価方法> 学習プリント記入で確認	
前時までに学習したさまざまな権利も身近な判例で考えることができることを理解する。 それぞれの判例をこままでの憲法学習をもとに自分自身で判断してみる。 35分	本時までに学習した日本国憲法における国民の権利について復習し、「判例」を班でまとめて発表する趣旨を説明する。 以下の10個の判例から、グループで一つ選び発表する。事前に、憲法のどんな点が問題になるのかを確認する。 1. 国会議員のNHKの政見放送が無断でカットされた・・・ 2. 同性愛者団体が公共施設宿泊を拒否された。仕方ない？ 3. 高校生のバイク通学が校則で禁止されていることは・・・ 4. 自動車の速度取り締まり装置に写真を撮られることは・・・ 5. 日曜日の授業参観を宗教的理由で欠席することは許されない？ 6. 指紋押捺を拒否することは許されないの？ 7. オウム真理教にも宗教の自由はある・・・ 8. 宗教上の理由で「剣道」の授業を受けないことは許される？ 9. お風呂屋さんに距離制限があることは仕方ないこと・・・ 10. 「有害図書」を高校生に禁止することは仕方ないこと・・・	<評価方法> 自由権、平等権、社会権、新しい人権、参政権などの持つ意味が理解できているかどうかを指名して答えさせ、あわせてプリントにも記述させて確認する。 【思】 日本国憲法と、簡単に解説した10事例の説明をもとに、グループで一つ選択し、問題の争点・関連する権利、どのような判断が適切かなどを話し合わせ、発表させる。 詳細は後日の発表時に行うので、あまり時間を取らず簡単に考えさせる。	
難解な判例をみんなにわかりやすく説明する手法としてロールプレイを身につける。 50分	ロールプレイのお手本として、テレビ番組「生活笑百科」の一場面を紹介する。 グループごとに分かれて、プリントに事件の概要をまとめる者、演じる練習をするものに分かれ、活動する。	最近増えている法律もののテレビ番組から事例を紹介する。 次回に1時間かけて練習するロールプレイ、事件の概要をまとめるプリントづくりで評価する。	

注1

注2

注3

注4

[注1] 1. テレビドラマ『カバチタレ』の第1話冒頭部分(5分程度)を視聴する。

* スピードオーバーの車が見逃されるのに、軽微な駐車違反で切符を切られる場面から始まり、無断欠勤1回でその月の給料を穴埋めとして没収され不当解雇された主人公を、病院でたまたま知り合った行政書士が内容証明を使って労働者の権利を使用者に主張するシーン。

[注2] 参考文献は『判例セレクト'86~'00』有斐閣)

判例は事件の概要がわかりやすいこと、身近にあり得そうな事例、学校に関係するものなどを選んだ。

[注3] 今回はNHK『生活笑百科』の一場面を視聴させたが、他に『ザ・ジャッジ』『行列の出来る法律相談所』でも、生徒はロールプレイのイメージを作ることができるのでよいと思う。
実際のロールプレイではほとんどのグループの生徒は必ず「訴えてやる〜う」という『ザ・ジャッジ』の事件再現場面の決めセリフを使用していた。

[注4] ロールプレイで発表してもらうことを説明し、(演じる者2~3人・プリントをまとめる者1~2人)のグループ分けをさせ、役割別に作業をさせる。

<発表時の授業風景とまとめのプリント> 6時間目 / 6時間



<単元の指導計画>

1. 2. 3時間目 / 6時間 日本国憲法の基本原則

* 自由権(表現・人身・宗教・学問・経済)、平等権、社会権、参政権、新しい人権 等の解説

4時間目 / 6時間 判例で考えよう・・・本時

* ロールプレイによる発表形式を説明

5時間目 / 6時間 台本づくり、練習、プリント作成

* 各班ごとに準備する

6時間目 / 6時間 発表・考察・評価

* 各班の発表をみて、判例について考え、意見をまとめて自己評価、相互評価をする。

憲法を判例で考えよう。 ～みんなにわかりやすいプリントにまとめよう～

判例：日曜日の授業参観と宗教的理由で失職することは許されるか？

<p>事件の概要</p> <p>昭和37年6月13日、東京都江戸川区立A小学校で起きた事件。日曜日の午前中に授業参観と実施したが、主任の宗教上の理由により、出席を認めない。その目的、学校側は宗教とした。しかし、生徒Aの父は、宗教の自由を侵害するとして訴えた。因らば、日曜日に授業を実施することは、宗教の自由への配慮が図られていないと認められた。</p>	<p>争いの争点</p> <p>「日曜日に授業参観と実施したこと」「学校側が「出席扱い」としたこと」 → 宗教の自由の侵害</p>
<p>関連する憲法(法律)は</p> <p>憲法20条(権利の塊)、教育基本法(後述)</p>	

あなたならどう判断する!

真に、裁判官の判断が・・・

裁判所の判断は：学校側の勝利

- ▶ 日曜日の授業参観は、日曜日の休みになっている親が多いためと考えられ、適切な日と考える。→ 宗教活動にも関係ないのは、教育よりも優先すべきではない。
- ▶ また、憲法上、国は宗教も公教育も平等に扱わなくてはならない。→ どちらから参観(ないし)してはいけない。
- ▶ よって、宗教活動に参加するから、公教育にでなくてはならないから、宗教の方も参観(ないし)したことになる。
- ▶ ただし、これからは、宗教の自由と、公教育が衝突しないために、日曜日に授業を実施することは憲法上認められないことだ。

◎この授業のロールプレイが	わかりやすかった	まあまあ	よくわからなかった							
◎このプリントが	わかりやすかった	まあまあ	よくわからなかった							
◎この冊子を使って問題を解く時	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.

「調べ方、表現の仕方に主眼をおいた課題追究学習の授業展開について」

新指導要領「現代社会」の目玉は、大項目（１）「現代に生きる私たちの課題」で２～３項目選択して学習する課題追究学習であり、さらにその中で付けさせたい力として登場する「調べ方の学習」や「適切に表現する」ことであると考え、その点を中心にして４回の授業実践を行った。

１の「科学技術と生命の問題」では、１年の現代社会、年度当初の導入部分で取り上げられることを前提として、「調べ方」の学習を行った（３／８時限目）。幸い中学校ではＢ紙を使ったり、中にはパソコンを使ったりしての発表を経験している生徒がたくさんいることを考慮し、資料の収集方法や商業高校の特色を生かした情報機器の使い方にウェイトを置いた授業を展開した。その結果、こちらが予想していなかったような手法が使われたり、また細かなことを丁寧に処理する女生徒特有の発表が行われるなどなど、多義にわたり成果があったと考える。また思考の発展も見られた。

２の「日常生活と芸術とのかかわり」では、生徒にとって大変身近にあるテレビドラマをか教材として活用することを試みた。青年期の高校生の生き方とドラマに登場する役者とを関連させて、よりよい生き方、高校時代の有意義な過ごし方が学べるよう意識したつもりではあるが、こちらの意図はなかなか伝わらず、また定期考査等においてもその成果が把握しづらい単元となり今後さらに展開を工夫する必要がある実践となった。

３の「豊かな生活と社会福祉」では平成１４年度から全教室で使用が可能となった校内ＬＡＮを授業に取り入れ、情報機器を使用すると必ず教室を移動したり、教室が雑然とする煩わしさを解消することを目指した実践を行った。教室内での検索、パソコンへの資料収集、発表用に加工するまで比較的スムーズに実施できた。この実践で、おそらく生徒たちは、情報機器を活用する技能さえ身につければ時間的にも、物理的（紙やマジックの使用と比べて）にも学習の効果が上がることを実感してくれたのではないかと考えている。

４の「日本国憲法の基本原則」では、新指導要領・大項目（２）で課題追究学習を実践した。基本的人権に関わる実際の判例から生徒自身が題材を選び、それを演じることでみんなにわかりやすく表現することを目指した。幸いテレビで法律ものの番組が増えてきている時であったため生徒の反応はよく、一つ一つの判例について大変わかりやすい役割劇と、その判例に対する考察をすることができた。

以上４つの実践を通して、「興味・関心」「技能・表現」という観点では比較的効果があったと思う。しかしそれが「思考力」を高めたり、授業では扱えなかった発展的な「知識の理解」まで生徒が自ら発展させて学習してくれるのだろうかという点では大きな不安がある。今後は学習の転移が可能となるような手法の工夫や、評価規準との整合性を高める努力が必要であると感じた。